

高知県再造林推進会議 設立趣意書

高知県は、森林率 84 パーセントを有する全国一の森林県です。約 59 万ヘクタールを占める森林のうち民有林は約 47 万ヘクタール、その 63 パーセントに相当する 30 万ヘクタールが人工林となっています。

この豊富な森林資源を余すことなく活用するとともに、持続性を高めながら成長発展させることによる社会経済活動の向上とカーボンニュートラルを実現していくことが必要です。

一方で、森林資源の活用が進み皆伐が拡大しているものの、皆伐後の再造林は 4 割程度にとどまっており、伐って、使って、植えて、育てるといった森林資源の循環利用が進んでいない状況です。

このことは、将来的な人工林資源の確保にも影響が及ぶばかりか、森林の二酸化炭素を吸収する役割や土砂流出防止、生物多様性の保全も含め、森林の有する公益的機能の低下が懸念されます。

また、環境問題への関心の高まりから、SDGs などに取り組む企業などが増加している中で、再造林が担保された木材を利用しようとする動きも見られます。

このような状況から、森林・林業・木材産業をはじめとする多様な関係者が協力し、再造林の推進に向けて取り組むため「高知県再造林推進会議」を設立するものです。

令和 5 年 9 月 20 日

設立発起人

高知県森林組合連合会 代表理事会長	戸田 昭
高知県素材生産業協同組合連合会 代表理事	本山 博文
一般社団法人高知県木材協会 会長	小川 康夫
一般社団法人高知県山林協会 会長理事	池田 三男
一般社団法人高知県森林土木協会 会長理事	嶋崎 勝昭
一般社団法人四国林業土木協会 会長	山下 政司
高知県種苗緑化協同組合 理事長	西森 憲明
高知県知事	濱田 省司